



社会医療法人近森会

発行

2014年9月25日

びろっば 10

Vol. 339

www.chikamori.com ● 高知県高知市大川筋一丁目1-16 〒780-8522 tel. 088-822-5231 発行者 ● 近森正幸 / 事務局 ● 川添昇

知って欲しい新しい近森病院 第1回

大幅に拡充した ER 治療スペース

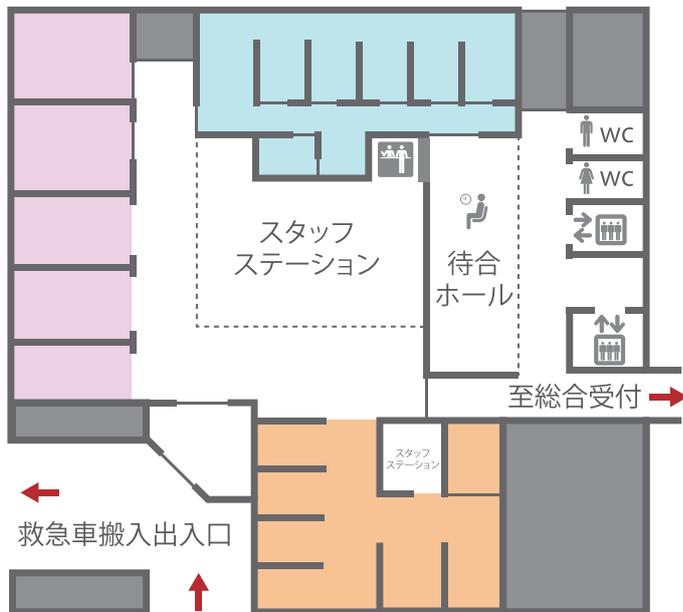


◀ 3台が同時駐車可能なピロティ
▼ 患者さんが防災ヘリでヘリポートに

近森病院
救命救急センター長 根岸 正敏



▼ 本館 A 棟見取り図
建物南西角に救急車の搬入出入口を設置、東側に総合受付に通じる通路がある。



ピロティ式救急車専用搬出入口

近森病院新改築5カ年計画も最終段階に入り、新本館1階には従来の3倍ほどの広さを有する新ERが完成、去る8月16日には引っ越し作業が無事に完了しました。

まず南西角にはピロティ式の救急車専用搬入口が設けられ、風雨の影響も少なく直接ERへの患者搬入が可能となりました。常駐の近森ドクターカーを除いても、3台の救急車の同時駐車が可能です。

ER治療スペースの拡充

ER内の治療ベッドはそれぞれが拡

▲大幅に拡充されたER治療スペース▼最初のヘリで運ばれ、笑顔で退院の患者さん(中央)



張され、重症用ブース5床、中等症用ブース7床で、旧ERの改修後(10月半ばに完成予定)に、軽症・観察用ベッド5床も使用可能となり、計17ベッドの配置となります。また、重症ベッド中の2床は、緊急手術にも対応可能です。

Walk in (自力来院) 患者用の診察室も、内科系が4、外科系が2に増え、これまで以上にスムーズな診療が行われています。

バックアップ体制とヘリポート

また、中央の緊急用エレベーターにより、2階の手術室、3階の検査部門、4階の集中治療系病棟への直接移動も可能となり、また外来センターとの連絡橋が完成したことにより、ER用のCT、MRI等に万が一トラブルが発生しても、外来センターの機器で対応できるバックアップ体制がとられ、安全性も確保されました。

そして13階屋上には念願のヘリポートが完成し、8月25日には高知

2面に続く

1面から続く

県ドクターヘリの離着陸訓練も無事に終了し、その翌日には早速、防災ヘリによる患者搬入が行われました。現場からの直接搬送の重症熱中症患者さんでしたが、迅速な対応により無事に軽快退院されました。

これまでのヘリ搬送はドクターヘリの基地病院である医療センターが中心

でしたが、今後は当院への搬入も増加する見込みです。

いつでも、誰でも、どんな病気でも

そして、旧ERでは、すでに最終の改修工事が始まり、完成後には総合診療科の三つの診察室、上述の軽症・観察用5ベッド、そして一時閉鎖していました患者家族さん用の待機スペース

なども設ける予定です。

新しいERの完成によってハード面は整いましたが、当院の救命救急センターの目標である、「いつでも、誰でも、どんな病気でも」に向かって、迅速、かつ安全、そして高度な救急医療を提供すべく、さらに職員一同努力してまいります。

ねぎし まさとし

近森病院附属看護学校 ● 平成 27 年 4 月開校予定 (設置認可申請中)

第 1 回オープンスクール開催報告

模擬授業や施設見学、看護技術体験など

近森病院附属看護学校
設立準備事務局 教務主任 竹村 多加

8月23日(土)に近森病院附属看護学校の第1回オープンスクールを開催いたしました。天候に恵まれたこの日、参加者の方々には開校後1年間の学び舎となる管理棟3階に集まっていただきました。

学校の紹介と模擬授業を開催した後は、施設見学や看護技術体験などで

際の学校の雰囲気を楽しみながら体感していただきました。また、相談コーナーでは、入試や入学後のことなど、皆さんの疑問点や気になることについて、広くご相談を受け付けました。

今回は、保護者の方々も含めておよそ80名の方にご参加いただき、積極的なご質問も多数受けて、来年の開校に向けて確かな手応えを感じることができました。

たけむら たか



▲なんでも相談
◀学校紹介と模擬授業



▲職員食堂でほっとひととき



◀▲看護技術体験



近森病院附属看護学校
「校歌の歌詞」と「校旗デザイン」
を募集しています

- 来年4月に開校する看護学校のシンボルとしてふさわしい「校歌の歌詞」と「校旗のデザイン」を広く募集しています。
- 応募締切は平成26年10月31日(金)
- ※詳しくはホームページをご覧ください。
<http://www.chikamori-hns.com/>

入学試験情報 (出願、試験、合格発表)

	推薦入学試験	一般入学試験	追加募集入学試験
出願期間	平成26年9月29日(月) ~ 10月10日(金)	平成26年11月25日(火) ~ 12月5日(金)	平成27年1月26日(月) ~ 2月6日(金)
試験日	平成26年10月19日(日)	平成26年12月14日(日)	平成27年2月15日(日)
試験科目	国語総合(古文・漢文を除く) 数学Ⅰ 面接	国語総合(古文・漢文を除く) 英語Ⅰ 数学Ⅰ及び数学A(平面図形を除く) 面接	国語総合(古文・漢文を除く) 英語Ⅰ 数学Ⅰ及び数学A(平面図形を除く) 面接
試験会場	近森病院管理棟3階 近森病院附属看護学校		
合格発表	平成26年10月24日(金)	平成26年12月19日(金)	平成27年2月20日(金)

～みんな怖かった 膀胱鏡～

近森病院泌尿器科

主任部長 谷村 正信



昨今のカメラ内視鏡技術の進歩で、現在は以前と同様の硬性鏡を使うことはほとんどなく、軟性膀胱鏡を使用し、モニターに映し出す TV 膀胱鏡（しかも最近はハイビジョン!!）となり、穏やかな検査となっています。

患者さんに聞くと、痛みはかかなりましですが、不快感はやっぱりあるそうです。画質的には雲泥の差で、昔は内視鏡を検者が覗き込んで検査を行っていましたが、今は画像をモニターで見ながら、複数の目で病変を確認できるように（見逃しの無いように）なりました。勇気のある患者さんは、検査中、モニターを見ておられます。

昔の名残で尿道麻酔をして、膀胱尿道ファイバースコープを行っておりますが、通常は直径 6 mm ほどのスコープを使いますので、尿道カテーテルを留置するのと手技はほとんど変わらないので、将来的には、麻酔は要らなくなると思っています。

次回はいよいよ手術へ。

たにむら まさのぶ

今は昔、なんといっても患者さんが恐れているのは膀胱鏡です。とくに男

性は、あんな棒のようなものを尿道に突っ込まれるのは嫌やと、最初から逃げてしまう人も昔は多かったです。

泌尿器科医としても検査で最初に戸惑うのが、やはり膀胱鏡の挿入です。男性の尿道は S 字状ですが、ここに真っ直ぐな金属の棒を突っ込むわけですから。

慣れてしまえば、指先に尿道粘膜を感じながら、その抵抗具合に合わせ膀胱鏡を進めることが可能になります。が、ひとつ間違えば、膀胱を見るはずが直腸内を見ることになってしまうこともあり、たいへん侵襲性に富む（実に恐ろしい）検査でした。

ハッスル研修医

一期一会



初期研修医 矢野 慶太郎

私は高知出身で高知学芸高校卒業後、東京で1年浪人し東京の昭和大学に進学しました。特別な理由があって東京に行ったわけではないですが、新しい友達もできてコミュニケーションの輪も広がり良い経験ができました。

研修先を考えるとときもそのまま東京で働こうかとギリギリまで悩みました。でも近森病院に見学で来たとき、病院の雰囲気や研修医の働く姿を見て「ここで研修したい」と思いました。

そんな近森病院で働き始めて早や半年が経ちました。まだまだ半人前でご迷惑をかけているとは思いますが、先生方やコメディカルの方々に支えられ、日々充実した研修を送ることができています。患者さんもあたたかく明るい人が多く、逆に患者さんから元気をいただいているように感じるときもあります。私も患者さんに笑顔になってもらえるよう、医師として人として成長していきたいです。

今後もスタッフや患者さんとの一期一会を大切に、この恵まれた環境でひとつでも多くのことを吸収できるよう頑張ります。

やの けいたろう



◀登り口の看板に緊張!

近森 正幸

5、600 年も前の戦国時代前半、全国に無数にできた土の城を最近よく見て廻っている。高知城とか姫路城といった立派な城ではなく、むしろいまではほとんど忘れ去られているような、中世の城址に興味をそそられる。中世といえば土佐では長宗我部元親が活躍した時代までである。

先日、高知大学西方の高さ 100 m ほどの山上にある、高知では中世最大

規模の朝倉城址に登ってみた。県の史跡には指定されているものの、二ノ段や三ノ段、巨大な空堀や豎堀には竹林が進出してきていて足を踏み入れられない。 Deng 熱が流行っていたころだったので、電池式の蚊取り線香をバッグにくくりつけ、虫除けのジェルを全身に塗り、長袖シャツに首にはタオルを巻き、襟を立てて、まるで「怪しい」！ 格好をして登っていった。

この城は当時勢力を拡大していた本山の城主本山梅慶が土佐中央部を支配下に置くために築城した。天文 9 年 (1540) ここに移り、その 20 年後に始まった長宗我部氏との戦いで、梅慶の跡を継いだ子の茂辰は、朝倉城死守の困難さを悟り、永禄 6 年 (1563) 1 月この城を焼き払って本城本山に退去、以来廃城となっている。

自然石を積んだだけのごく低い野面積みの石垣や、山をえぐっただけの簡素な空堀や豎堀、尾根筋を大きく断ち切った堀切、土を盛っただけの崩れかかった土塁や虎口などを見ていると、鉄砲出現前の弓や刀、槍の時代、人間同士がぶつかりあって闘っていた当時の人々の必死の思いが見えてくる。

理事長・ちかもり まさゆき

※虎口とは、中世以降、敵の侵入を防ぐ工夫がされた城の出入口

アジアでも注目の 近森病院の栄養サポート



臨床栄養部
部長 宮澤 靖

この8月21日～24日にかけて台北市で行われた第6回 Asian Congress of Dietetics に、臨床栄養部佐藤科長とともに参加してきました。

学会テーマは、「アジアの栄養サポートの実践と革新を通じて健康を推進する」という、トピックの広い範囲をカバーしていました。アジアを中心に欧米、オセアニア地区の栄養学の専門家や研究者が3,000名ほども参加していました。

今回の発表は、学会長の National Taiwan University の Pro. Chwang Leh-

Chii 女史に依頼をいただき「Treatment of protein energy malnutrition (PEM) for elderly patients in Japan : current situation and future approaches」という演題名で教育セッションの講演をしてきました。アジアを中心に高齢化が深刻な問題となっており、日本はとくに少子高齢化が進むなかで、多くの問題点が惹起してきています。

高齢患者の特徴は「低栄養と廃用症候群」であり、とくに栄養の問題点は「エネルギーとたんぱく質摂取不足」です。これを栄養学の世界で“PEM”と呼んでいるのですが、このPEMの日本における現状と課題を、近森病院の栄養サポートチームとリハビリテーションの協働を中心に話してきました。

他部署の皆さんのご理解とご協力のもとに、管理栄養士が病棟に常駐する欧米型の業務をしており、リハスタッフが早期離床や摂食機能評価を積極的にしてくれています。また、医師、看護師の皆さんには早期に経腸栄養法を検討していただき、業務内容も欧米型になってきました。

こうした取り組みがアジアでの注目を浴びており、講演終了



後にはタイやシンガポールの医療従事者より質問や講演の依頼をいただいたほどでした。

とても有意義な学会となり、さらに台湾は食事がとにかく美味しく素敵な街でした。初めて経験した「足つぼマッサージ」の痛み以外は……。

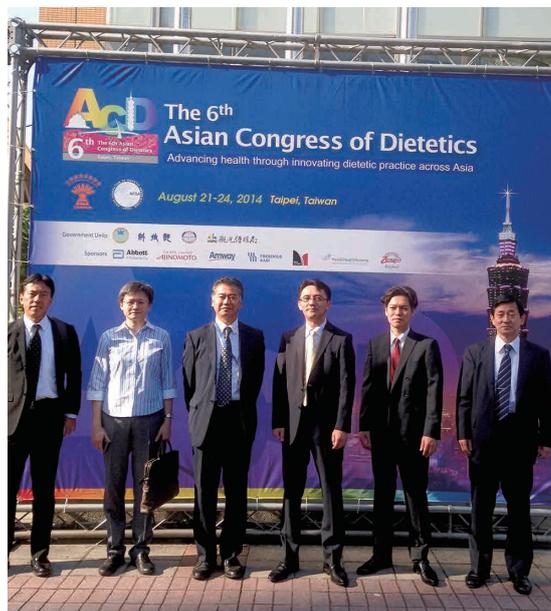
みやざわ やすし

図書室便り (2014年8月受入分)

- The American Society for Surgery of the Hand Textbook of Hand & Upper Extremity Surgery Vol.1,2 / Arnold-Peter C.Weiss (Managing Editor)
- 甲状腺・頸部の超音波診断第3版 / 岩田政広 (他著)
- 訴訟・トラブルに強いカルテ・看護記録の書き方 / 長谷部圭司

《別冊・増刊号》

- 別冊・医学のあゆみ 制御性T細胞：その基礎と臨床展開 / 坂口志文 (編)
- 臨床栄養別冊栄養指導・管理のためのスキルアップシリーズ vol.2 糖尿病の最新食事療法のなぜに答える実践編 / 本田佳子 (他編)
- BRAIN NURSING 2014 年夏季増刊 マンガでわかる！脳神経疾患病棟の急変対応 明日体験するかもしれない32の事例 / 田村綾子 (監修)
- 臨床心理学 増刊第6号 臨床心理職のための「研究論文の教室」研究論文の読み方・書き方ガイド / 森岡正芳 (他編集)



お弁当拜見 26 大好き ふなっしー弁当！



近森病院地域医療連携センター
ソーシャルワーカー 三保木 咲衣

大学時代からできるだけお弁当を作るよう心がけ、お弁当歴4年6カ月になります。

私がお弁当を作るにあたって気をつけていることは、バランスのとれ

たメニューにすること、家にあるもので作る、ということです。野菜を多く摂取するよう気をつけていて、この時期はとくにピーマンがよく入っています(笑)今日はオムライ



スのおにぎりの上に、私の大好きなふなっしーをのせてみました。ふなっしーパワーでお昼からもがんばります。
みほぎ さきえ

♡♡♡ 献血、ありがとうございました。♡♡♡

▼中央 高知市献血推進員

2014年9月9日に行われました「献血キャンペーン」にご参加くださいまして、ありがとうございました。

▼今月から問診がタッチパネル式になりました



9月9日火曜日に献血キャンペーン(400ml限定)を開催しました。職員に加え、一般の方もご参加くださり64名の方にご協力いただきました。皆さまほんとうにありがとうございました。次回は冬に開催を予定しております。

2014年8月の診療数 システム管理室

近森会グループ	
外来患者数	17,145人
新入院患者数	847人
退院患者数	864人
近森病院(急性期)	
平均在院日数	14.02日
地域医療支援病院紹介率	65.34%
地域医療支援病院逆紹介率	157.38%
救急車搬入件数	515件
うち入院件数	265件
手術件数	390件
うち手術室実施	271件
→うち全身麻酔件数	140件

● 平成26年8月 県外出張件数 48件 延べ人数 75人 ●



ワイン講座 ● 24

ぶどう品種を知り、個性を探る 黒ぶどう その①

ピノ・ノワール

「読書の秋、食欲の秋……」といわれますが、私なら真っ先に「赤ワインが欲しくなる秋」ですね。今月より、黒ぶどうの紹介をさせていただきます。

第一回の今回は、シンプルかつ、高貴な葡萄品種で、他の品種とブレンドされることがほとんどないピノ・ノワールです。優美な香味で、エレガントで軽やかなものから、濃縮感のあるリッチなタイプまで、ピノ・ノワールといっても、産地、生産者によって特徴はさまざまです。

フランスのブルゴーニュ地方が原産で、かつては、この地以外では栽培出来ないとわれていましたが、近年では、アメリカのカリフォルニア州やオレゴン州、ニュージーランドでの成果をきっかけに、世界

ブルゴーニュ・レ・コトー・デ・モワンヌ/プシャール・パール・エ・フィス/フランス、ブルゴーニュ地方●生産者の力量が試されるベーシックなラインのワイン。コート・ド・ボージュ地区の複数のテロワールから選別した葡萄、もしくはワインのブレンドで、良年にのみリリースされます。ワイン名は「修道士たちの丘」の意。

テロワールとは、農作物を造る上で非常に重要で、土地、土壌の要素や、気候の要素、人的な要素を総合した葡萄作り、ワイン造りの環境を意味します。

中で栽培されるようになりました。

その魅力は、なんといっても繊細さ、複雑さ、エレガントさなど。しかし、言葉では表すことの出来ない、表情豊かなワインに仕上がります。

鬼田知明(有限会社鬼田酒店代表)



リレーエッセイ

最近の楽しみ

近森病院北館3階病棟
看護師 小島 佑奈



1年と8カ月前に長男を出産してから、毎日のように育児と家事と、そして仕事の日々が続いています。子供を産むまでは、たいへんなのは初めての3カ月! と勝手に甘い考えを持っていた私ですが、実際は毎日バタバタともうたいへんです。

最近は自我も芽生え、嫌なことはなんとしてでも嫌がるようになって、子供を育てることのたいへんさをし

みじみと実感しています。そんな毎日ですが、少しずつ言葉を覚え始め、「まんま」や「ねんね」など簡単な言葉を話せるようになり、覚えたての言葉を話す姿が可愛いと思えるようになってきました。

芸も出来るようになり、だるまさんの本を読んであげると本に合わせて体を動かしたりしてくれるように! なかでも最近の一押しの芸は「猪木!」です。これは偶然下アゴを突き出していた子供に、お父さんが「猪木!」と声を掛けると面白がって覚えた芸です。

忙しい日々ではありますが、子育ての楽しさも実感できている今日この頃です。これからもいろんな芸を教え、芸達者な子供になってくれたら楽しいな! なんて、思っています。 おじま ゆうな

近森病院初の 脳卒中リハビリテーション看護

認定看護師2名誕生〔前編〕



近森病院北館 SCU
看護師 島田 聖子

私は埼玉県にある目白大学メディカルスタッフ研修センターで7カ月間研修し、日本看護協会の認定看護師認定審査に合格、脳卒中リハビリテーション看護認定看護師となりました。

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師は今年109名が合格し、全国で494名、高知県は6名になりました。

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師の役割として、活動性の維持や促進のための早期リハビリテーションや急性期・回復期・維持期における生活再構築のための機能回復支援などがあります。

授業の一貫として研修生で企画、運営も含めた「市民公開セミナー」を開

催しました。脳梗塞を発症して救急車を呼び、病院に到着するまでの劇を行い、発症後4時間半以内であればt-PAによる血栓溶解療法が投与できることを市民の方々に知ってもらい、脳卒中予防のための生活指導も行ないました。

授業やグループワークの合間をぬって、夜遅くまで学校に残り、話し合いや準備を進めていきました。意見がぶつかり、辛いこともありましたが、いま振り返れば自分が成長するための時間でもあり、貴重な体験だったと思っています。病院はさまざまですが、同じ目標を持った仲間や先生方との出会い、時間はかけがえのないものとなりました。

今後、脳卒中教室を開催し市民の方々と関わっていけたらと思っています。今後ともご指導よろしくお願い致します。

しまだ せいこ

10月の歳時記

サフラン

近森病院 6A 病棟クラーク
西村 沙代



サフランはクロッカスの仲間で球根植物です。赤い雌しべが、パエリアの色付けにも使われていることはよく知られていますが、花は藤色

で開花時期は10～11月です。

乾燥させた雌しべは、色付けの他に鎮静・鎮咳の効果があり、漢方としても利用されています。1gを採取するのに30株以上の花が必要なため、非常に高価な生薬です。



絵・近森病院附属看護学校
設立準備事務局
公文幸子



ワッペン、バッジ、広報誌あれこれ 8 「かぶせる」

近森会薬剤部薬剤師 安岡 里紗



左筆者、右筒井薬剤部長

薬剤部で1月に一回発行している「かぶせる」は、新規採用薬や医薬品の添付文書変更についてお知らせする情報誌です。

平成2年8月の創刊号より数えて今月で286号となります。「今月の薬草」や薬剤に関するQ&Aなどのコーナーとともに、発行する季節やその時のトピックスをヒントに、歴代の担当者頭を悩ませてつけている題号にもご注目下さい。

やすおか りさ

「成人先天性心疾患・ 未来の治療：再生医療と シミュレーション」



近森病院心臓血管外科
部長 入江 博之

9月3日、岡山大学より佐野教授をお迎えして講演会を開催しました。会場は満員で補助イスでも対応しきれませんでした。岡山大学病院は先天性心疾患の成績は世界的にもトップクラスであり、日本国内はもちろん海外からも紹介を受け、新生児や複雑心奇形児の手術を行っています。

「1970 - 80年代では手術が成功し、生存できることが治療の成功」と考えられていましたが、「現在では、長

い期間高いレベルの生活ができるようにして成功」という段階になった。このため心機能障害を持って生きていく患者が増えている。ただ、先天性心疾患を本当に理解できている医師が少なく、年々増える成人患者に対し、しっかりフォローアップできる体制が必要」と語られました。

また、お腹の中にいる胎児へカテーテル治療や既に世界で初めて臨床第二段階に入っている心筋再生のお話など、未来の治療についても紹介があり



ました。

いりえ ひろゆき

2015年度 看護師採用試験

日時 11月1日土曜日、2015年2月27日金曜日（いずれも9時から）
会場 近森病院管理棟3階
応募 履歴書（様式不問）は1週間前までに郵送していただくか、ご持参ください。※ 詳細は近森会グループのWebサイトに掲載しています。

みんなあ、まちゅうきね

近森会グループ
看護師採用試験

2015年度

必要事項
履歴書を試験日の1週間前までに郵送またはご持参ください。

届出先：〒780-8522
岡山大学病院1F 110
室長室 看護部長室まで
代表電話：088-822-5231
<http://chikamori.co.jp/kango/>

※中途採用希望の方は、お手数ですが近森病院 看護部長室までご連絡ください。

和田事務長の 田舎から その7

新米で「むかごご飯」

近森病院総合心療センター
事務長 和田 廣政

里山も収穫の秋、7月号で紹介の棚田も黄金に色づき稲刈りを行いました。

昔の稲刈りは鎌でザクザクザクと3株ほど手刈りしてそのまま手首をひねり扇状に地干して、刈り終わると藁で束ねて



▲秋には庭にたくさんの花が咲きます

稲木（いなぎ）に架け、しばらく自然乾燥させる手間のかかる作業でしたが、今では少し手刈りするだけでコンバインで刈り取り、乾燥機で乾燥させ、翌日籾摺り（もみ殻を外す）を終えると新米の出来上がりです。更にご飯にするには精米して白米にします。結構手間がかかる作業で「お米」の語源は「八十八」もの手間がかかるとことから来たともいわれています。

秋には庭にたくさんの花が咲きます。小さな白い花をつけているのは「山芋」で葉の付け根に小さな実「むかご」を付けます、毎年庭に自然に生えてくるので



▲収穫の秋、昔ながらの稲刈りをしました。ベランダに延ばしてむかごを収穫します。刈り立ての新米で「むかごご飯」をいただきました。



▲収穫したての新米で「むかごご飯」。旨い！



▲山芋の小さな白い花。「むかご」を収穫

第3回 高知フィジカルクラブ

近森病院神経内科 佐島 和晃



「すべては患者さんのために」を合言葉に堺で発足したフィジカルクラブ(身体所見の部活動)。縁あって高知で3回目の開催となりました。なんと、他院や県外からも看護師や学生が参加してくれました。

今回も平島修部長(加計呂麻徳洲会診療所 総合内科)を中心に、たいへん熱い部活動となったと思います。

参加者の皆さんは、これからルーチ

ンで内頸静脈を評価するそうです。さらに今回は国立病院機構大阪医療センターの総合内科松本謙太郎先生もお招きして、臨床推論をしていただきました。

僕個人としても、モチベーションの高い学生と知り合え、良いつながりができました。メディカルスタッフ間での共通言語が増え、患者さんに還元される日を期待します。次回は2月開催予定です。

さじま かずあき

お知らせ 医療従事者対象

● 第138回地域医療講演会

「がん化学療法 AtoZ

—お作法おしえます—

講師 神戸市立医療センター中央市民病院
腫瘍内科部長・がんセンター長・
外来化学療法センター長

辻晃仁先生

日時 10月31日(金) 18:00 ~ 19:30

会場 近森病院管理棟3階会議室

● 第139回地域医療講演会

「救急医療と漢方」

講師 静仁会静内病院院長

井齋偉矢先生

日時 11月28日(金) 19:00 ~ 20:30

会場 近森病院管理棟3階会議室



フィジカルクラブとは、堺病院で立ち上げられた、身体診察によってひとりでも多くの患者さんのためになる診察が楽しくなることを目標に行う部活動。

AOTrauma Fellowship unit で研修にきました

「近森病院での40日間」



Ahmed Yaseen

I am highly impressed and I liked everything about my AOTrauma Fellowship in Chikamori Hospital, which is very well structured and equipped hospital.

In the department of orthopedics and Trauma led by Dr. Kinugasa, I got to learn new techniques and new approaches as well as to see new implants.

“YOSAKOI Festival” and “tempura” as part of Japanese food are the two most impressive things I got to experience from Japanese culture in the nice Kochi City.

私は近森病院での AOTrauma Fellowship に関するすべてのことが気に入っており、また大きな感銘を受けています。近森病院は非常に良く組織立てられ、また高度な設備が整っています。

整形外科では衣笠先生の下で新しいテクニックやアプローチ、そして新しい固定材料などを学びました。

また、私はこのすばらしい高知の街でいろいろな日本の文化を知りましたが、その経験の中で最も印象深かった二つのことは「よさこい祭り」と「天ぷら」でした。

アーメド・ヤシーン
日本語訳は衣笠清人整形外科統括部長

なにげない毎日の醸す余裕

なにごとにつけ「本気」の熱いひと

「プライベートが、あまりないような毎日を送っている」という山本科長だが、その鋭い視線の先には仕事への熱意が窺える。

学会発表のための原稿書きの、その本数の多さは指折り、ともいわれている。だからといって、仕事一筋のカタブツかといえば、むしろ毎年の運動会でも監督を務め、呑み会には積極的に参加し、たまには魚釣りにも出かけるなど、オフも充分楽しんでいるようでもある。なにごとにつけ、「本気」の熱いひとなのだ。

なにげない毎日

医師として働く父親に、甲斐甲斐しく仕える母の姿を見て育ってきたせいかどうか、女性に求める理想像は、「昔ながらの大和撫子」。医学部進学もあまり深く考えることなく、流れにそのまま乗って今に至るそう。

研修医時代、半ば強引に循環器系に進むことを勧められたようだが、これも、「よくある話」で、とりたてて何かがあるわけではない。「なにげない毎日を大切に作るスタイル」が、山本科長の人生や仕事に対する余裕となっているようにも見える。

寝ても醒めてもカテーテル

「集中病棟で24時間、重篤な患者さんの全身管理に目を光らせる」というのが、科長のやりたい理想の仕事である。

その希望は若い頃からずっと持っているが、そのためにはカテーテルも知っておかなければならないと教えられ、納得。そこで、まずはカテーテルの検査から始め、6年余りを経たいま、



▲大阪時代の後輩たちと、韓国での学会にて

カテーテルが好きで好きで大好きで……。寝ても醒めてもカテーテルという毎日を送っている。

大学時代を過ごした大阪で、いまでも仲良く付き合いのある後輩の先生方がカテーテルを勧めてくれたのがカテーテルに没頭する直接のきっかけになった。

学会、勉強会参加の好循環

いまでも機会あるごとにその後輩に逢って、カテーテルについて話をするのが、それこそ「三度のメシより好き」なイベントだ。学会のあと、食事をして、二次会に行き、三次会に行き、締めはラーメンで、その間も、話題はずっとずっとカテーテルのことばかり。いくらでも盛り上がるし、話題は尽きない。

腕前を上げるということを真剣に考えれば、当然、その機会を多く持つことが求められるが、だからといって、中堅医師の立場では、若い先生方の機会を奪うことは許されない。

そこで、勉強会や学会など、積極的に参加し、「業務に支障が出ない範囲を心がけている」。これが、毎日の仕事の励みであり、楽しみであり、やり甲斐にも繋がっている。

勉強会に出ると、確かに参加しただけの手応えを実感できるし、毎回、手応えを実感することで次への意欲にも繋がる好循環になっている。少人数の勉強会で、エキスパートの先生から、「こんなときはどうしたらいいか」を、症例を見ながら直接教えを受けられ、「お前ならどうする？」と訊かれる緊張感は、勉強会への参加に向けて、抜かりない準備ができるように日頃を過ごす原動力にもなっている。

ただし、仕事に支障をきたさないよ

うにと、いくら気をつけていても、「迷惑をかけていることもあるでしょうね…」と、反省も少々。

生活の優先順位

生活全般の優先順位がこんな風だから、プライベートの時間が全くなさそうに思えてしまう。食べること、呑むこと、休憩すること、どれを取っても特段な不自由を感じないため、現状を変えたいという希望も取りあえずはないのだろう。

そういえば、「コヤジの会」という院内の知る人ぞ知る若手医師の会では、「近森会グループの将来像」について存分に熱い議論を交わしているらしい。若手医師それぞれが、思いっきり「自分流の近森愛」を語り、しかもそれで羽を伸ばせているとすれば、これ以上のプライベート充実策は見つかりにくいに違いない。



▲中学生に対しても育成は常に真剣

ニューフェイス

①所属 ②出身地 ③最終出身校 ④家族や趣味のこと、自己アピールなど



この ひろゆき ①麻酔科医師②愛媛県松山市③岡山大学④高知は4年目、美味しいものがたくさんこの街が大好きです。お勧めがあればぜひ教えて下さい。

河野 宏之



9/15 敬老の日に運動会を行いました。当日は 450 人以上が参加し、みごとりハビリチームが優勝しました！



& 運動会 夏祭り



▲近森オルソリハビリテーション病院での夏祭り

◀近森リハビリテーション病院の夏祭り



私の趣味

テニス

近森病院北館2階病棟
看護師 島倉 充

私は6年ほど前から本格的にテニスをやっており、いくつかのクラブで週に1~2回練習をしています。アマチュアですが大会にも積極的に出場し、今では少しずつ勝てるようになってきました。

県内のテニスの大会は意外と多く、個人の主催や企業、女子連盟、新日本スポーツ連盟、高知県協会主催など様々。色々大会がありますが、アマチュアで最高峰

の大会といえば、やはり協会主催のKTPが付加される大会でしょうか？KTPとは簡単にいうと勝てばもらえるポイントのことです。高知にも四大会のようなものがあり、ここで勝つとそれに伴うポイントがもらえます。

そのポイントを1年かけて集め、県内のランキングを競うわけです。末端でもランキング入りすると、その人は皆からランカーと呼ばれるようになります。ちなみに、私はランカーではありません。ここで勝つというのはほんとうに凄いことなのです。やってみて思うのですが、高知だけでもこれですから、錦織選手の世界ってどんな



ものなのでしょうね。

テニスはハードですが、勿論やって楽しいスポーツです。年齢は問わず、80何歳で現役というのも珍しくありません。ほんの少し黒くなりますが、皆さんもどうでしょう？
しまくら みつる

「胸部外科医が知っておくべき 病院経営の話」と 「新しい専門医制度」について



近森病院
心臓血管外科部長 入江 博之

我々心臓血管外科が所属するなかで最も大きい日本胸部外科学会のなかで、大学病院以外の基幹施設で約7割の手術が行われています。

これらの基幹施設が集まった会合が教育施設協議会です。今回は当院が当番幹事となり、9月13日（土）、14日（日）の両日、当院で開催しました。

第一部「胸部外科医が知っておくべき病院経営の話」では、民間、国公立、自治体病院それぞれの視点からの講演が行われました。

外科医は「外科医にしかできないこと」を行うこと、各医師が専門分野に特化できること、そのためには多職種のチーム力でカバーする必要があるこ

▼好評だった病院見学会では、質問が相次いだ



となどが語られました。

また、診療報酬改定で定められた「手術・処置の休日、時間外・深夜加算の見直し」に対応する勤務体制について各施設の取り組みなどが紹介されました。

第二部は、来年から施行される予定の「新しい専門医制度」について、制度設計責任者の方々からお話をうかがい理解を深めました。また問題点や今後のそれぞれの病院の対応が語られました。

全国より主に部長以上で60名の参加がありました。新しい試みの前夜祭



「乞! 熱烈応援」

本人の『思い』を実現する



社会福祉法人ファミリー高知
障害者福祉サービスセンターウェーブ
施設長 西岡 由江

このたび、障害者福祉サービス「ウェーブ」の施設長の辞令をいただきました。これまで「看護」の世界でしか仕事をしてきていない私が、就労支援事業所B型ウェーブやグループホームポルト、特定相談支援事業所で務まるのだろうか……? と心配が絶えません。

しかし、医療で大切にしてきた「その人らしさ」を中心として、障害を乗り越えて自信と誇りをもった生き方ができることを目指す福祉サービスとして、スタッフと共にがんばっていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

にしおか よしえ

初めて高知に来られた方も多く、懇親会では「土佐のお客（宴席）を堪能した」と喜んでいただきました。

いりえ ひろゆき